

## 校長通信 その1

校長室前の中庭にある樹も新芽を付け、日々葉を大きく茂らせていきます。季節は時期を違えずにきちんと廻ってきますが、生徒の皆さんがいない学校は、すっかり時が止まってしまったかのようで寂しい日々です。臨時休業に入って1週間が経とうとしていますが、学校の時間割どおりに過ごせていますか？

2度目の臨時休業にあたり、また分散登校も中止になってしまったことから、先生たちもちろんですが、皆さんも学習の遅れが心配になっていることと思います。学校によっては、「授業をインターネットで配信」したり、「課題をクラウド上に提出」してもらったりしているところもありますが、残念ながら舟入高校では、現段階でそれだけの十分な環境が整っていません。では、舟入高校の教育は他校に比べて大きく後れをとっていくのでしょうか。そんなことはありません。少し視点を変えて考えてみましょう。

学校で行う授業は、社会の変化に伴って（この点はいつかまた触れる機会があると思います）、先生から生徒へ一方的に情報が伝達され、生徒が受動的に先生の話聞く形から、協働的に課題解決にとりくんだり、他者の多様な考えに触れて自己の思考を深めたり、と生徒のアウトプットを含む学習活動が核となる形へと変化しつつあります。「協働的に課題解決にとりくんだり、他者の多様な考えに触れて自己の思考を深めたり」する学習は、残念ながら各家庭で一人で行うことはできませんね。しかし、そうした活動を行うための基礎となる「知識・技能」はある程度一人で習得することができますし、「個人思考」は他者との協働的な活動を行う前段階として非常に重要であると言われています。では、どうすれば良いのでしょうか。

答えは簡単です。教科書を読みこんでください。もちろん課題もたくさん出ていると思いますが、課題に取り組む上で疑問に思ったことについて、「わからない」とそのままにせず、教科書や資料集、英語であれば文法の解説書を読んでみてください。それでもわからないことは、学校に電話して先生に直接質問しても良いし、休校に入るときに話したようにリストを作っておいても良いでしょう。友人とSNSでつながっているなら、時間を決めて疑問点を共有しても良いかもしれませんね。そして気分転換にはぜひ「舟入高校体操」を本気でやってみてください。

「ピンチをチャンスに」という言葉をよく耳にするようになりました。舟入高校生の強みの一つに「読解力の高さ」があると思っています。皆さんは自分で教科書を読んで「知識・技能」を身につける力は十分に持っているはずですが、登校できない今は、確かに「ピンチ」ですが、逆にじっくり個人思考をして日ごろ疎かになりがちな部分に丁寧に取り組むことができる「チャンス」でもあるのです。学校が再開できたときに、「対話的で深い学び」を得る授業に向かってロケットスタートを切る準備期間として今を活用しましょう。先生たちも舟入高校専用サイトの更新を頑張ります。



今日のひと言「教科書を読もう！」